



LEO で学んでみた

LEOは今年で24年目を迎えました。これまで数えきれないくらいたくさんの帰国生と接してきました。今回は、LEOで学んだ人たちの声を紹介して、そこからLEOという塾を知ってもらいたいと思います。(大学受験生の声より)

1. 成蹊高校在籍 ICU・早稲田大学国際教養学部 AO 入試合格

難易度の高いLEOの英文を繰り返し読み、語彙力を身につけることで、目標の英語資格を取得していききました。

LEOで扱う英文の内容は死刑制度、環境問題、貧困についてなど、考えを深めるような内容が多く、問題意識を高め、それに対する自分の意見をしっかり持つことにつながりました。

今年度の受験はコロナ禍の中で、不安も多くなりましたが、大学への提出書類の添削や授業をオンライン上で行っていただき、自信を持って受験に臨むことができました。

2. 都立国際高校在籍 早稲田大学国際教養学部 AO 入試、上智大学外国語学部(帰国)、上智大学国際教養学部合格

特に英文和訳は私が通っていた学校では学ぶことができなかったうえに、日本語で文章にする

ことが苦手だった私にとって非常にありがたい授業でした。様々なトピックを練習させてもらったおかげで実力がついたのを自分でも感じ、本番には自信を持って挑むことができたのを覚えています。

授業ではただただ過去問を解くだけでなく、毎回のエッセイで先生や他の生徒の意見などを聞いて参考にすることができたり、単語テストで語彙力を高めたりすることもできます。

吉澤先生は志望理由書の添削もたくさんしてくれました。他の塾では添削の回数が限られていましたが、吉澤先生は何回でも快くオクケーしてくれたので自分の納得がいく志望理由書を書くことができたと思っています。

LEOは少人数授業なので、疑問に思ったことをその場で気軽に聞くことができ、授業の雰囲気もとても良くてのびのびと勉強することができました。

3. 頌栄女子学院在籍 慶應義塾大学法・環境情報学部(一般)、青山学院大学国際政治経済学部(海外就学)合格

活動報告書などを何度も添削していただきました。

吉澤先生は授業でよく先生自身の体験を話してくれます。英文の解釈や単語の意味だけでなく、英文についての見解を述べて下さるので、エッセイを書く際に参考にしました。

授業でかなり難易度の高い英文を解いていたため、本番の試験の英語は正直簡単に感じました。でも、それはLEOで膨大な量をこなし、確かな語彙力を身につけていたからだだと思います。それは自信につながったし、今振り返れば、諦めずにやってきました良かったと心底思います。

以上です。みなさんありがとうございました。次回は中高受験生の声からLEOを紹介いたします。

LEOの強みと信念

帰国生の良さを伸ばす授業を心がける

他の大手予備校や塾(競合他社)は、その事業の一部として「帰国生」を対象とする部門を持っていたり、商品を作っていたりするが、弊社は「帰国生」を専門として扱う塾である。そして、帰国生とは、「客」というよりも「人間」としてずっと接してきた。この違いは、弊社を利用した生徒や保護者の声からも明らかである。

海外でも大都市には日本の

塾が進出し、海外滞在中も帰国後のことを常に考えて塾通いさせる家庭もあるが、LEOの生徒はそうした生活を送ってきた人は少ない。海外の学校を優先できた人が、この塾を選んでくれる。

それは、LEOは帰国生の良さを伸ばそうとしている塾だからだと思う。質問を積極的にできる。ただ暗記するだけの授業ではない。帰国後も帰国生

のレベルで英語の面倒を見てくれる。他の教科は、学年を下げたところから教えてくれる。焦らずにしっかりと基礎力養成を第一に行う。こうした授業ができるのも、1クラスの人数を小中生は8名以内に、高校生でも10名程度に抑えているからだろう。

その結果、帰国後すぐに有名校に進学しなくても、大学受験でトップ校に入学している人を、LEOはたくさん輩出している(LEOの目標は早慶上智ICUへの合格であり、90%の確率でそれを実現できている)。彼らにこういう教育環境を与えることはきわめて大事で



ある。LEOはそうした環境を提供し続けたい。

LEOを経て、大学生、そして、社会人になった人がよくLEOを訪問してくれるのは、LEOでの時間が楽しかったり、有意義だったと思ってくれたりする証だと考える。

こんなLEOを利用してみませんか。お待ちしております。

180-0005

武蔵野市御殿山 1-6-1

吉祥寺サンプラザ 305

0422-70-5205

yumas@leo21.net

